

# St. Luke's International University Repository

## 専門看護師個人認定の促進と制度の充実

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 廣瀬, 千也子, Hirose, Chiyako メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.34414/00015023">https://doi.org/10.34414/00015023</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 専門看護師個人認定の促進と制度の充実

### Enhancement and Promotion of the System for CNS Authorization

廣瀬 千也子<sup>1)</sup>

#### I. 専門看護師制度の概要

日本看護協会（以下、「本会」とする）は、看護界や行政等の協議のもと、1994年に専門看護師制度を創設した。

表1は、専門看護師認定者数の推移と制度関連データである。1995年にはがん看護、精神看護分野を特定し、1996年には6名の専門看護師が誕生した。2006年度（現在）専門看護分野9領域の認定審査受験者数は58名、合格者数47名である。専門看護師総数は186名となり、2回目更新者は6名である。現在、大学院数は25、教育課程数は81である。近年の看護系大学院修士課程への進学者の増加や、文部科学省の「がんプロフェッショナル養成プラン」の影響もあり、日本看護系大学協議会に認定申請を予定している教育課程が存在することを鑑みると教育課程修了者はさらに増えることが予想される。

2000年、本会と日本看護系大学協議会は「専門看護師制度に関する申し合わせ事項」を締結し、専門看護師制度の発展のための連携を図っている。日本看護系大学協議会は、①教育課程の特定、②教育課程基準作成、③教育課程の認定、④教育課程認定更新を担っている。日本看護協会は、①専門看護分野の特定、②認定審査、③更新審査を担う。

表2は、分野別専門看護師認定者数の推移である。最も認定者の多い、がん看護専門看護分野は11月に新たな認定者が誕生し100名を超えることが予想される。

専門看護分野とは、「変化する看護ニーズに対して、独立した専門分野として知識及び技術に広がりや深さがあると制度委員会が認めたものをいう（専門看護師規則第9条）」。専門看護分野の特定は、1）すでに専門看護分野の教育課程が現存し大学院等で実施されている者、2）専門看護分野の教育を修了し、専門看護師の受験資格を満たしている者が現時点で3名以上、臨床専門分野（地域含む）で実践していること。

専門看護師受験資格は、1）看護系大学院修士課程修了者で、日本看護系大学協議会が定める専門看護分野の所定単位を取得していること、2）実務研修は通算5年

以上そのうち3年以上は専門看護分野の実務研修、そのうちの1年は修士課程修了後である。

#### II. 課題：個人認定の促進

図1は、保健医療福祉施設に勤務する専門看護師の職位である。対象は教育機関所属の12名を除く174名である。専門看護師としての専従者は33名、主任相当40名、看護師長相当29名、スタッフ27名、経営者4名、離職者2名、その他8名などである。専従者配置は33名（19%）と少ない。専門看護師制度発足後12年、教育課程数は着実に増加しているが、教育課程を修了しても認定審査を受験しない者が多いことが推察される。その要因のひとつに専門看護師および教育課程修了者の活用と雇用環境があるのではないだろうか。

1998～2005年のがん看護分野の教育課程修了者は129名（本会調査）であるが、がん看護分野の専門看護師認定者は59名（45.7%）に過ぎない。また2005年の合格者37名へ、①雇用条件、②職位、③勤務条件・給与待遇、④活動時間・範囲、⑤専門看護師受験までに障害となったことなどについて調査を行ったところ、⑤の「看護管理者からの理解協力を得ることが困難だった」と12名（32.4%）が回答し、同時に実績を積むことの困難さをあげている。「倫理調整」「研究」に関する実績を積むことが困難だった15名（40.5%）、「相談」に関する実績困難13名（35.1%）、「調整」に関する実績困難12名（32.4%）であった。このような現状を打開するには、教育課程修了者の採用および活用に対する看護管理者の理解と支援が不可欠である。

米国の clinical nurse specialist（以下、「CNS」とする）に関する研究（Baker, 1987）では、就職後数年間をCNSの役割開発期間とし、患者に対する直接ケアを行いながらCNSとしての役割を認識する段階、そして組織の改革を促進する段階、さらにコンサルタントとしての機能に重点をおく段階を経て、CNSが役割を開発していくことが考察されている。

本会認定審査においても、教育課程修了後3年程度を経て受験する者が最も多い。専門看護師受験者は、修了

1) (社) 日本看護協会常任理事

表1 専門看護師認定者数の推移と制度関連データ

審査実施年	制度関連データ ※大学院数・教育課程数は年度			認定審査関連データ		更新審査関連データ		専門看護師 総数
	日本看護 協会特定 分野数	大学院数	教育課程数	認定審査 受験者数	認定審査 合格者数	更新者数		
		※本会特定分野の認定数				1回目	2回目	
1995	2							
1996	3			7	6			6
1997	3			7	5			11
1998	3	3	6	6	3			14
1999	3	6	13	3	1			15
2000	3	9	18	6	4			19
2001	5	9	28	9	7	6		26
2002	6	12	38	19	14	5		40
2003	7	12	48	33	31	3		70
2004	8	16	56	37	28	1		98
2005	8	21	69	45	41	4		139
2006	9	25	81	58	47	7	6	186

資料作成：(社)日本看護協会認定部

表2 分野別 専門看護師認定者数の推移

年	がん看護	感染症看護	急性・患 重者看護	小児看護	精神看護	地域看護	母性看護	慢性疾 患看護	老人看護	合計
1996	4	—	—	—	2	—	—	—	—	6
1997	5	—	—	—	4	2	—	—	—	11
1998	7	—	—	—	5	2	—	—	—	14
1999	7	—	—	—	6	2	—	—	—	15
2000	9	—	—	—	8	2	—	—	—	19
2001	15	—	—	—	9	2	—	—	—	26
2002	18	—	—	6	11	2	—	—	3	40
2003	31	—	—	9	19	3	3		5	70
2004	44	—	—	12	25	3	4	4	6	98
2005	58	—	7	16	29	6	4	10	9	139
2006	79	1	13	17	39	6	8	13	10	186

資料作成：(社)日本看護協会認定部

後数年間は所属施設のなかで足場を固めながら実務研修を通して専門看護師という役割への認識が進んだ段階で、ようやく受験する状況がうかがえる。看護管理者は、教育課程修了者を「卓越性を潜在能力として有している者」と捉え、まずは所属施設における活動の基礎づくりに向けた支援が必要という理解をもったうえで、教育課程修了者を積極的に活用することが望ましいであろう。専門看護師はさまざまな努力を重ねて6つの役割機能を獲得していくため、教育課程修了時からの雇用環境はきわめて重要である。できるだけ早期から活動の場を与えることが、専門看護師認定審査へと繋がる。

2007年4月、改正医療法により「専門性の広告」が

看護師にも認められるようになった。本会は「専門性の広告」の9要件を満たし、「専門看護師（および「認定看護師」）」が一部分野で分野名称の変更を経て、全分野広告可能となった。今後は広告の記載が可能となったことに伴い、各施設における「専門性の広告」に関する広報活動もより積極的になるのではないだろうか。これらを通して国民が専門看護師の役割機能を理解し、活用していくことにより専門看護師制度が社会に根づいていくというメリットもある。複雑で解決困難な看護問題をもつ個人・家族や集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供する専門看護師への期待は高い。

専門看護師制度の発展のためには、おもに以下の3つ

の課題に取り組んでいかなければならない。

- 1) 制度的課題：法的・経済的（診療報酬等）位置づけに向けた施策，看護界のみならず他団体等との協働連携による社会的認知の促進
- 2) 教育的課題：質の高い教育提供および修了者の輩出
- 3) 経営的課題：施設規模に応じた適切な配置，処遇そして権限等の雇用環境の整備の促進である。  
常に制度を見直し，時代の変化に対応できるよう改善を図っていきたい。

### 参考文献

Baker, Po. (1987). Model activities for clinical nurse specialist role development. *Clinical Nurse Specialist*, 1(3), 119-123.

日本看護協会ホームページ  
<http://www.nurse.or.jp/>

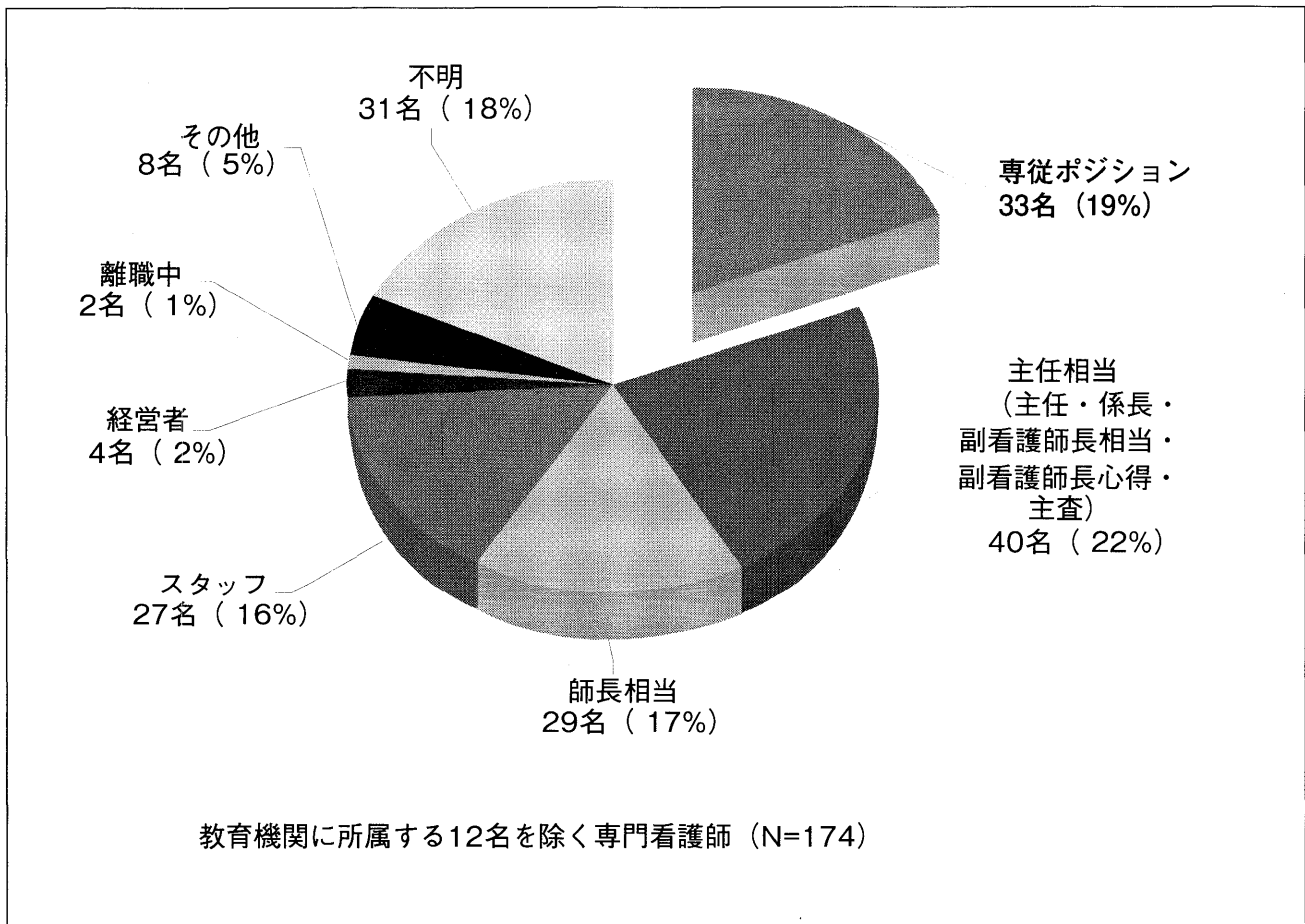


図1 保健医療福祉施設に勤務する専門看護師の職位 2006年度 (N=186)

資料作成：(社)日本看護協会認定部